

宮城県感染症発生動向調査情報(第7週)

宮城県【平成26年02月20日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.2.10 ~ 2.16 ・ 第7週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第4週	第5週	第6週	第7週
水痘	11 2.20	9 0.90	5 1.00	2 1.00	2 0.67	3 0.60	6 3.00	24 0.92	62 1.07	419	◎→	◎→	○→	○
流行性耳下腺炎					2 0.67			3 0.12	5 0.09	84	→	→	→	
百日咳							1 0.50	1 0.02	1	1	→	→	→	
感染性胃腸炎	56 11.20	85 8.50	30 6.00	18 9.00	29 9.67	46 9.20	8 4.00	190 7.31	462 7.97	4,651	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病								2 0.08	2 0.03	12	→	→	→	
伝染性紅斑		3 0.30		1 0.50				20 0.77	24 0.41	242	○→	○→	○→	レ
突発性発しん		5 0.50	2 0.40		3 1.00	1 0.20	1 0.50	7 0.27	19 0.33	207	○→	○→	○→	レ
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	341 42.63	283 18.87	172 21.50	44 14.67	50 10.00	216 27.00	47 11.75	1152 27.43	2305 24.78	7,866	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱			1 0.20	2 1.00	3 1.00			5 0.19	11 0.19	65	→	→	→	
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	11	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11 2.20	21 2.10	12 2.40	18 9.00	1 0.33	14 2.80		47 1.81	124 2.14	939	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			2 2.00	1 1.00	1 1.00		5 5.00	2 0.40	11 0.92	51	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		1 0.10	1 0.20	2 1.00		1 0.20		9 0.35	14 0.24	156	○→	レ→	→	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	2	1	1	1	1				◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病										【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansens-center/			
	不明発疹症	1						1						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※						1 1.00	3 0.60	4 0.33	13					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求められることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳以上 (%)	総数 (人)
2014年 第2週		20.2	21.0	14.4	6.2	7.8	12.3	7.8	4.5	2.5	2.5	0.8	243
第3週		22.7	28.7	13.6	3.6	5.6	9.6	7.3	5.1	2.4	1.3	0.2	551
第4週		19.7	36.8	16.0	2.7	4.1	8.3	4.8	4.1	2.1	0.8	0.7	1,060
第5週		20.1	36.3	16.9	2.7	5.1	7.5	4.6	3.1	2.6	0.6	0.5	1,567
第6週		21.5	36.5	17.2	2.0	4.8	6.2	4.9	3.1	2.3	1.1	0.5	2,076
第7週		17.4	39.7	19.8	2.5	3.5	6.4	4.9	3.4	1.4	0.7	0.3	2,305

インフルエンザ定点
インフルエンザ定
点とは、小児科定
点と内科定点を合
わせたもので、県
全体で93定点(県:51、
仙台市:42)となっ
ています。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第5週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(68.98)、大分県(60.03)、宮崎県(56.08)である。インフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,016例と前週と比較して増加した。47都道府県から報告があり、年齢別では10歳(94例)、1~9歳(311例)、10代(62例)、20代(16例)、30代(32例)、40代(35例)、50代(53例)、60代(89例)、70代(147例)、80歳以上(177例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は1,860例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は島根県(2.39)、福井県(1.68)、佐賀県(1.52)である。**感染性胃腸炎**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(20.61)、福井県(17.68)、山形県(17.07)である。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.20)、栃木県(0.86)、沖縄県(0.86)、秋田県(0.75)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 報告数は減少した。都道府県別では28都道府県から56例報告があり、年齢別では0歳(7例)、1~4歳(39例)、5~9歳(5例)、20代(1例)、50代(1例)、70歳以上(3例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。
()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満

2類感染症: 結核
塩釜管内 男性2名、女性1名
大崎管内 女性1名
気仙沼管内 女性1名
仙台管内 女性1名(第6週)、男性1名、女性3名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: E型肝炎
仙台管内 女性1名(推定感染地域: 国外)

A型肝炎

仙台管内 男性4名

ブルセラ症

仙台管内 女性1名

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名(第6週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 25例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[インフルエンザ]

仙南管内で警報値を超えた。
塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、仙台管内で注意報継続中。

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

栗原管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

気仙沼管内 第5週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 5件
第6週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 1件
インフルエンザウイルスB 遺伝子 2件
塩釜管内 第6週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 2件
第7週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 3件
インフルエンザウイルスAH3 遺伝子 1件
インフルエンザウイルスB 遺伝子 2件

感染性胃腸炎集団発生事例より

大崎管内 第7週採取分 ノロウイルスG II 2件
塩釜管内 第7週採取分 ノロウイルスG II 2件
第7週採取分 ノロウイルスG II 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

第5週採取分 (1.27~2.2) 第6週採取分 (2.3~2.9) 第7週採取分 (2.10~2.16)

インフルエンザウイルスAH1pdm 3件 0件 0件
インフルエンザウイルスAH3 4件 0件 0件
インフルエンザウイルスB 3件 0件 0件
インフルエンザウイルスC 1件 0件 0件
インフルエンザウイルス(解析中) 5件 20件 22件
RSウイルス 0件 1件 0件
アデノウイルス 0件 1件 0件

[インフルエンザ]

今週、仙南および若林管内で警報値(1定点当り30人)を超えたため、県は全域に「インフルエンザ警報」を発令しました。今シーズンは患者より3種のインフルエンザウイルス(AH1pdm型、AH3型、B型)が検出されているのが特徴で、複数のウイルス型が流行すると再感染の可能性もあります。予防にはワクチンが有効とされていますが、過信することなく、下記HP等を参考に日常的な予防心がけてください。

・厚生労働省 インフルエンザQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

・インフルエンザ予防チラシ

<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/86901.pdf>